(C)十勝毎日新聞社

帯大谷 9連覇

田部3冠 個人戦複でも 佐々木と圧勝

全十勝高体連 バドミントン

（5月23～25日・よつ葉アリーナ）

男女団体戦と個人戦シングルス（単）、同ダブルス（複）を行った。20校出場の団体戦男子は帯大谷が大会9連覇を成し遂げ、帯工が準優勝、帯柏葉が3位。14校同の女子は昨年12月の新人戦大会に続き帯緑陽が初優勝を飾り、帯大谷が準優勝、帯南商が3位。個人戦男子複は田部時生・佐々木一成組（帯大谷3年・2年）、田部は単も制し、団体戦と合わせて3冠。女子複は愛澤琉衣・横山奈都美（帯緑陽3年・2年）が制し同校勢として初制覇して同ペアは団体戦との2冠、同単は片山咲弥（帯大谷3年）が頂点に立った。全道大会（6月11～14日・札幌市）には団体戦の上位3校、個人戦は上位4人（組）が出場する。（松崎篤嗣）

男子団体戦で大会９連覇の帯大谷

帯大谷を男子団体戦優勝に導いた田部時生（右）・佐々木一成ペア

個人戦男子ダブルスで優勝した田部時生（3年）と佐々木一成（2年）のペアが帯大谷男子団体戦の大会9連覇を支えた。

田部は個人戦単で優勝、佐々木も3位に入賞し、複では全て2―0のストレートで優勝した。昨年夏からペアを組んだ2人は、勢い重視の佐々木のプレーを冷静な田部がフォローするスタイル。田部は「（佐々木は）すぐ調子に乗るしメンタルに左右されがちだけど、乗ってる時は強いのでミスした後も気持ち悪いくらいの笑顔で声掛けした」。佐々木は「先輩はツンデレ」としつつも「低くて速い羽根の展開ではついていけないところもあったので、道大会までにフィジカルを強化しつつ、サーブ回りも改善したい」と話した。

相澤俊彰監督は「道大会まで残り2週間しかないが、カットの切れや低くて早い展開を強化して道大会に臨みたい」。一方で同部では丸刈りが流行。男子部員20人のうち9人が丸刈りで寺島陸福（3年）は「丸刈りの相澤監督へのリスペクトもあるし、気合も入る。応援も一体感があって楽しい」。リスペクトされた相澤監督は「爽やかさに欠ける」と言うが、まんざらでもなさそうな表情だった。

帯緑陽 初V

愛澤・横山ペア2冠

女子団体

個人複優勝の愛澤琉衣（3年）横山奈都美（2年）の帯緑陽ペアが団体戦でもチームを初優勝に導いた。

センターに飛んでくるシャトルに苦手意識があり、お見合いになることも多かったが、声掛けを増やして克服した。昨年冬の新人戦では全道8強で敗退。横山は「ベスト4以上を目標に、体力の強化やレシーブ力を身につけたい」と話し、愛澤は「全道では序盤に相手にペースを握られ、自分たちのプレーを出す前に負けてしまったので、強気に自分たちのプレーを出していきたい」と意気込む。

池田勝也監督は勝因として、理学療法士がトレーナーについていることや、社会人と合宿、練習試合をすることが多かったことを挙げた。「中学時代から実績のある選手の集まりではないが、選手一人一人に人としての魅力があって、学外からの指導を呼び込めた。誰か一人のスーパースターがいるわけではなく、結束力や人間力で勝ち取った勝利」と分析した。

船木優花主将（3年）も伊東光希（同）と組んだ複で団体戦の準々決勝、準決勝で勝利するなど優勝に貢献した。船木は「チーム内は和気あいあいとした感じで雰囲気がよかった。道大会に向け気合を入れてまた練習に取り組んでいきたい」と話していた。

帯緑陽の女子団体戦優勝に貢献した愛澤琉衣（右）・横山奈都美ペア

女子団体戦で初優勝を飾った帯緑陽

【男子】〈団体戦〉（23～25日）

▽準々決勝
帯大谷 3―0 帯北
帯農 3―1 幕別清陵
帯柏葉 3―0 帯工
帯大谷 3―0 帯芽室
▽第3代表決定戦
帯柏葉 3―1 帯北
帯大谷 3―0 帯柏葉
▽決勝
帯大谷 3―0 帯工
田部・佐々木 2―0 寺島・三本木（帯大谷）
小川（個人戦）
◇ダブルス▽準々決勝
田部時生・佐々木一成（帯大谷） 2―0 秋保祐太・岸本陽晴（帯北）
井上征・新（帯選人工） 2―0 下廣次郎・津村凌生（帯柏葉）
木村友翔・竹村怜斗（帯大谷） 2―0 西村颯馬・川瀬晴琉（帯工）
今野隼稀・三本木蓮（帯大谷） 2―0 福井悠斗・入澤蒼空（帯工）
▽準決勝
田部・佐々木 2―0 山内・新井
木村・竹村 2―0 今野・三本木
▽第3代表決定戦
今野・三本木 2―0 山内・新井
▽決勝
田部・佐々木 2―0 木村・竹村
◇シングルス▽準々決勝
田部時生（帯大谷） 2―0 高橋司（帯芽室）
下廣次郎（帯柏葉） 2―0 新井遥人（帯工）
木村友翔（帯大谷） 2―0 西村颯馬（帯工）
佐々木一成（帯大谷） 2―0 岸本陽晴（帯北）
▽準決勝
田部時生（帯大谷） 2―1 下廣次郎（帯柏葉）
佐々木一成（帯大谷） 2―0 木村友翔（帯大谷）
▽決勝
田部時生（帯大谷） 2―0 佐々木一成（帯大谷）

【女子】〈団体戦〉

▽準々決勝
帯大谷 3―0 幕別清陵
帯三条 3―1 帯南商
帯緑陽 3―0 清水
▽準決勝
帯大谷 3―2 帯南商
帯緑陽 3―1 帯三条
▽決勝
帯緑陽 3―1 帯大谷
帯南商 3―2 帯三条
◇ダブルス▽準々決勝
愛澤・横山（帯緑陽） 2―0 石田・朱里・武下亜美（帯南商）
大久保百佳・船木優花（帯緑陽） 2―0 大矢・胡桃・岩瀬ほのか（帯清水）
及川・片山沙来・内藤まゆ・大坂羽美・片山咲弥（帯大谷） 2―0 石田・朱里・武下亜美（帯南商）
愛澤・横山 2―0 保・船木・大久
▽第3代表決定戦
石田・武下 2―0 保・船木・大久
▽決勝
愛澤・横山 2―1 石田・武下
◇シングルス▽準々決勝
石原綾弓（帯大谷） 2―0 大久保百佳（帯緑陽）
片山咲弥（帯大谷） 2―0 横山奈都美（帯緑陽）
▽準決勝
石原綾弓（帯大谷） 2―1 内田千智・三浦一華（帯三条）
片山咲弥（帯大谷） 2―0 武下亜美（帯南商）
▽決勝
片山咲弥（帯大谷） 2―0 武下亜美（帯南商）
▽第3代表決定戦
内田千智（帯三条） 2―1 愛澤琉衣（帯緑陽）
内田千智（帯三条） 不戦勝 石原綾弓（帯大谷）
武下亜美（帯南商） 不戦勝 内田原（帯大谷）
▽準決勝
武下亜美（帯南商） 2―0 山本蒼依（帯大谷）
片山咲弥（帯大谷） 2―1 武下亜美（帯南商）
▽決勝
片山咲弥（帯大谷） 2―0 武下亜美（帯南商）

男子団体戦準優勝の帯工

女子団体戦準優勝の帯大谷